

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2, 5-ジメチルアニリンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する
急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2007-生72

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省
総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」
(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第
031121002 号、平成15年11月21日、平成18年11月20日一部最終改正)に従っ
て実施した。

- | | | |
|---------------|---|---|
| 1) 被験物質 | : | 2, 5-ジメチルアニリン |
| 2) 暴露方式 | : | 止水式 (密閉系) |
| 3) 供試生物 | : | オオミジンコ (<i>Daphnia magna</i>) |
| 4) 暴露期間 | : | 48 時間 |
| 5) 試験濃度 (設定値) | : | 対照区, 6.0, 7.7, 10, 13, 17, 22, 28, 36 mg/L 公比 ; 1.29 |
| 6) 試験溶液量 | : | 100 mL/容器 |
| 7) 連数 | : | 4 容器/試験区 |
| 8) 供試生物数 | : | 20 頭/試験区 (5 頭/容器) |
| 9) 試験温度 | : | 20±1 °C |
| 10) 照明 | : | 室内光、16 時間 明/8 時間 暗 |
| 11) 給餌 | : | 無給餌 |
| 12) pH | : | 試験溶液の pH 調整は行わなかった |
| 13) 分析法 | : | HPLC 法 |

結 果

予備的な検討の結果、被験物質に軽度の揮散性があることが判明していたことから、密閉系による試験を採用した。

1) 試験溶液中の被験物質濃度

暴露期間中の被験物質濃度の軽微な変動は、分析誤差によると考えられたことから、各影響濃度（50 % 遊泳阻害濃度、0 % 阻害最高濃度、100 % 阻害最低濃度）の算出に当たっては、暴露開始時および暴露終了時の測定値の算術平均値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 27 mg/L (95 % 信頼限界 : 23 ~ 32 mg/L), Probit

0 % 阻害最高濃度 : 11 mg/L

100 % 阻害最低濃度 : > 35 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 18 mg/L (95 % 信頼限界 : 17 ~ 20 mg/L), Probit

0 % 阻害最高濃度 : 11 mg/L

100 % 阻害最低濃度 : 27 mg/L